



第15回 周南市都市再生推進協議会

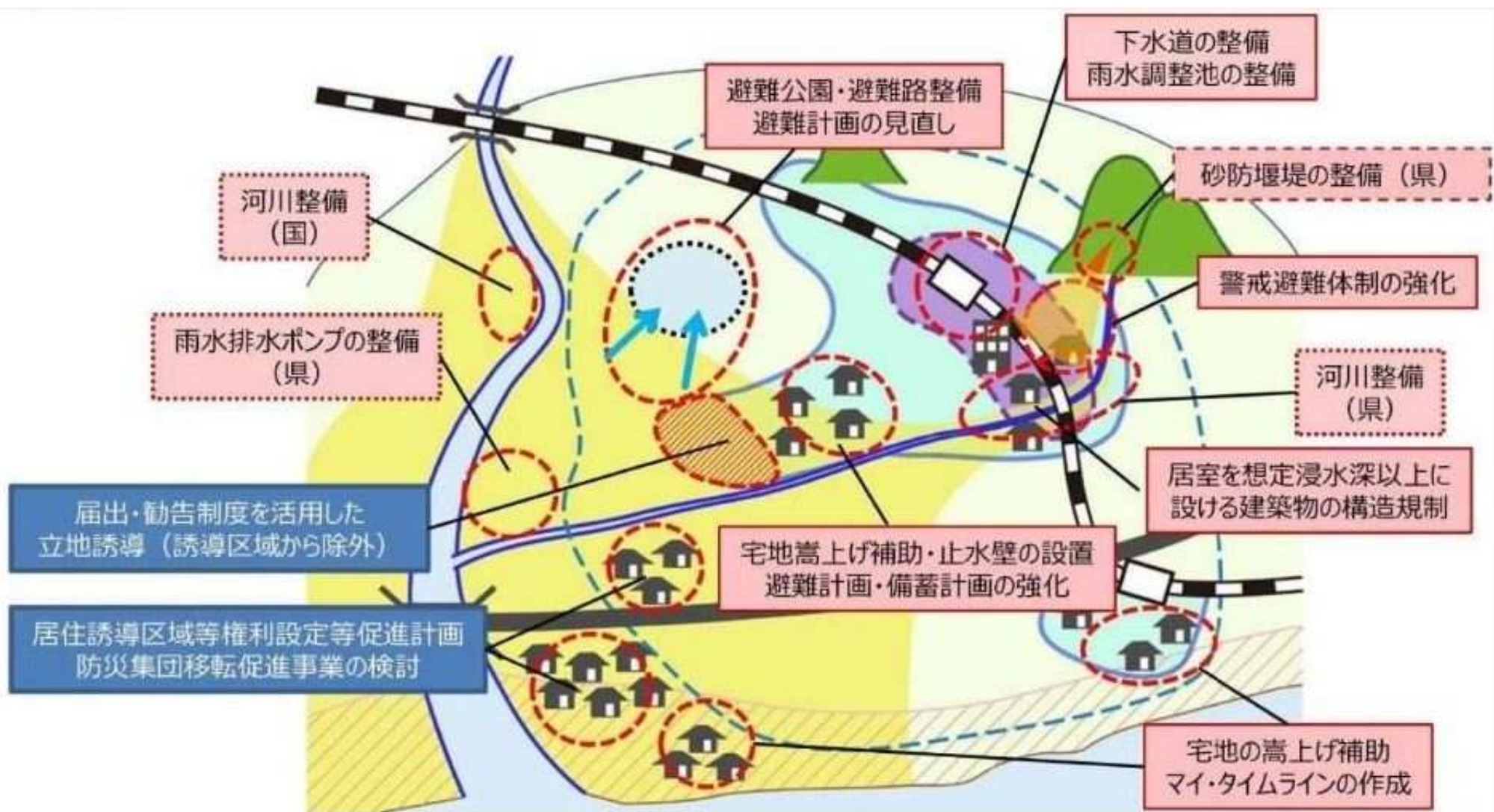
令和5年3月13日（月）14:00～
周南市文化会館 3階展示室



【報告事項】

(1) 居住促進区域の見直し検討について

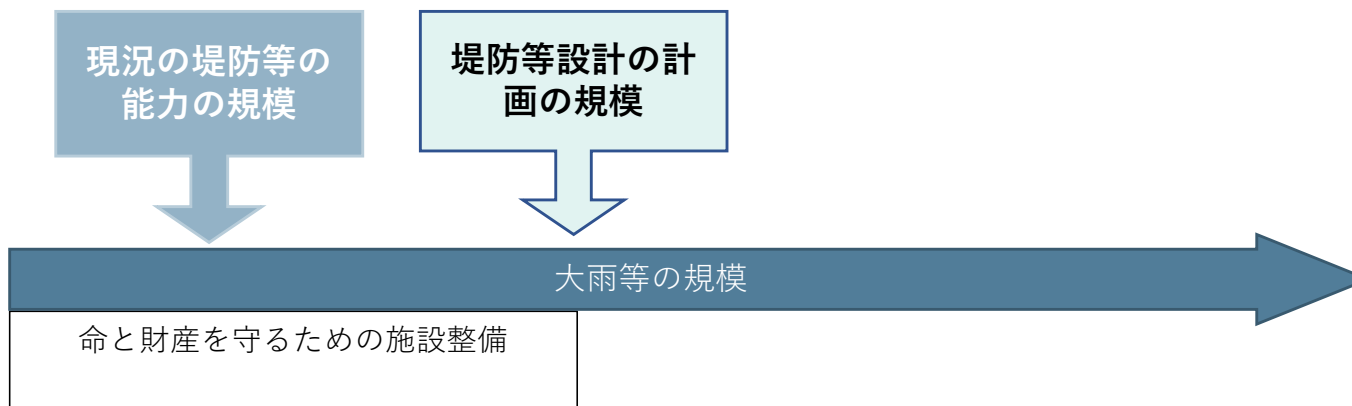
(2) 地区ごとの課題を踏まえた取組の検討について



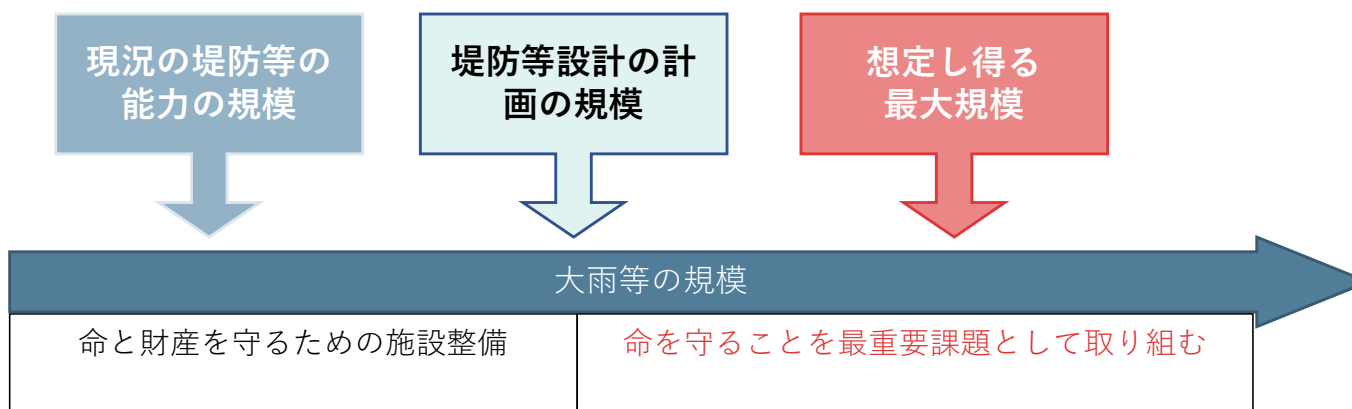
出典：国土交通省

項目	改正前		改正後																																
	計画規模 (L1)		計画規模 (L1)	想定最大規模 (L2)																															
降雨規模	30~100年に1回程度の規模の降雨により、破堤した場合の浸水想定区域		30~100年に1回程度の規模の降雨により、破堤した場合の浸水想定区域	1000年に1回程度の規模の降雨により、破堤した場合の浸水想定区域																															
発生頻度	高		高	低																															
洪水流量	小		小	多																															
主な対策のイメージ	治水対策 + 防災対策		治水対策 + 防災対策	防災対策																															
浸水深のランク区分	<p>【5段階を標準】</p> <table border="1"> <tr><td>5.0m以上</td><td>～</td><td></td></tr> <tr><td>2.0m以上</td><td>～</td><td>5.0m未満</td></tr> <tr><td>1.0m以上</td><td>～</td><td>2.0m未満</td></tr> <tr><td>0.5m以上</td><td>～</td><td>1.0m未満</td></tr> <tr><td></td><td>～</td><td>0.5m未満</td></tr> </table> 		5.0m以上	～		2.0m以上	～	5.0m未満	1.0m以上	～	2.0m未満	0.5m以上	～	1.0m未満		～	0.5m未満	<p>【4段階を標準】</p> <table border="1"> <tr><td>5.0m以上</td><td>～</td><td>5.0m未満</td><td>: 2階以上が水没</td></tr> <tr><td>3.0m以上</td><td>～</td><td>5.0m未満</td><td>: 2階部分が浸水</td></tr> <tr><td>0.5m以上</td><td>～</td><td>3.0m未満</td><td>: 1階が浸水</td></tr> <tr><td></td><td>～</td><td>0.5m未満</td><td>: 床下程度</td></tr> </table> 		5.0m以上	～	5.0m未満	: 2階以上が水没	3.0m以上	～	5.0m未満	: 2階部分が浸水	0.5m以上	～	3.0m未満	: 1階が浸水		～	0.5m未満	: 床下程度
	5.0m以上	～																																	
2.0m以上	～	5.0m未満																																	
1.0m以上	～	2.0m未満																																	
0.5m以上	～	1.0m未満																																	
	～	0.5m未満																																	
5.0m以上	～	5.0m未満	: 2階以上が水没																																
3.0m以上	～	5.0m未満	: 2階部分が浸水																																
0.5m以上	～	3.0m未満	: 1階が浸水																																
	～	0.5m未満	: 床下程度																																
その他 (避難活動に資する情報)	-		-	<p>浸水継続時間</p> 浸水深が0.5mを上回った時点から最終的に0.5mを下回るまでの通算時間																															
	-		-	<p>家屋倒壊等氾濫想定区域</p> 現行の建築基準に適合する一般的な建築物が倒壊・流出する等の危険性が高い区域																															

これまで



今後



命を守ること（避難行動）を優先とする



防災指針の検討

1. 居住誘導区域等における災害リスク分析と
防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出

- 1) 災害ハザード情報等の収集、整理
- 2) 災害リスクの高い地域等の抽出
- 3) **地区ごとの防災上の課題の整理**

第14回都再協
での報告
(R4.7)

2. 防災まちづくりの将来像、取組方針の検討

- 1) 地区ごとの課題を踏まえた取組方針の検討

3. 具体的な取組、スケジュール、目標値の検討

- 1) 防災指針に基づく具体的なハード・ソフトの取組検討
- 2) 取組スケジュールと目標値の検討
- 3) 防災指針に関連する制度の活用

誘導施設・
誘導区域等の
検討

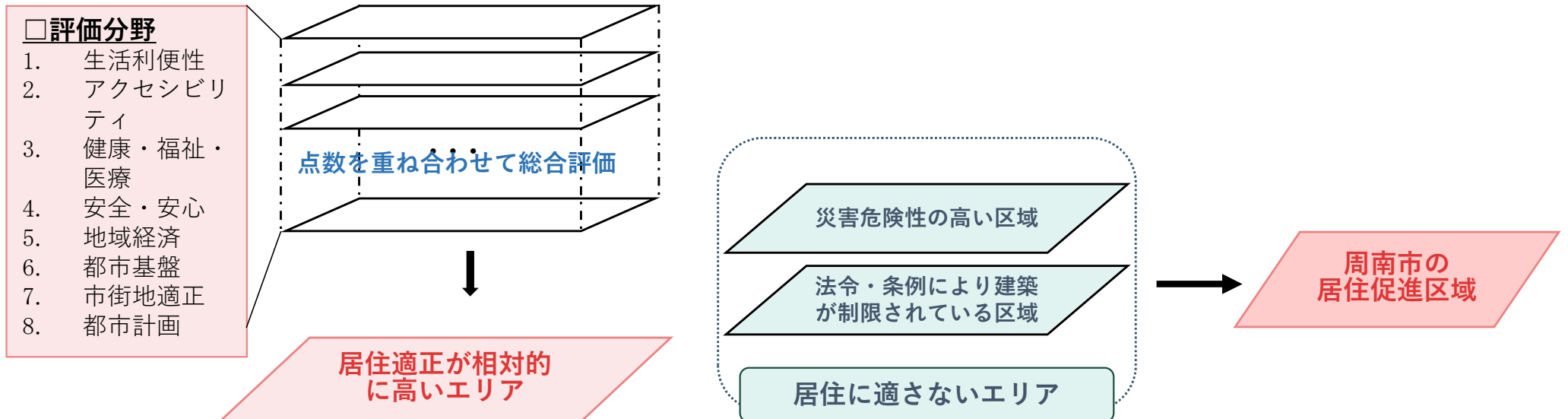
連携した
検討

第15回都再協
(R5.3)



《 居住促進区域の設定基準 》（現行計画より）

- ① 都市再生特別措置法をはじめとした土地利用関係法令に照らして、居住を誘導することが適当な区域であること
- ② 都市計画上、住居系用途地域又は商業系用途地域であること
- ③ 生活サービス施設の立地、都市基盤、災害危険性等の観点から、居住適性が相対的に高い、面的な居住地となりうる区域であること
- ④ 法令等により、自然災害の危険性が高い区域に指定されていないこと
- ⑤ 都市機能誘導区域の徒歩圏（300メートル程度）であること
- ⑥ 主要交通結節点の徒歩圏（鉄道駅から半径800メートル程度又は主要バス停留所から半径300メートル程度）であること



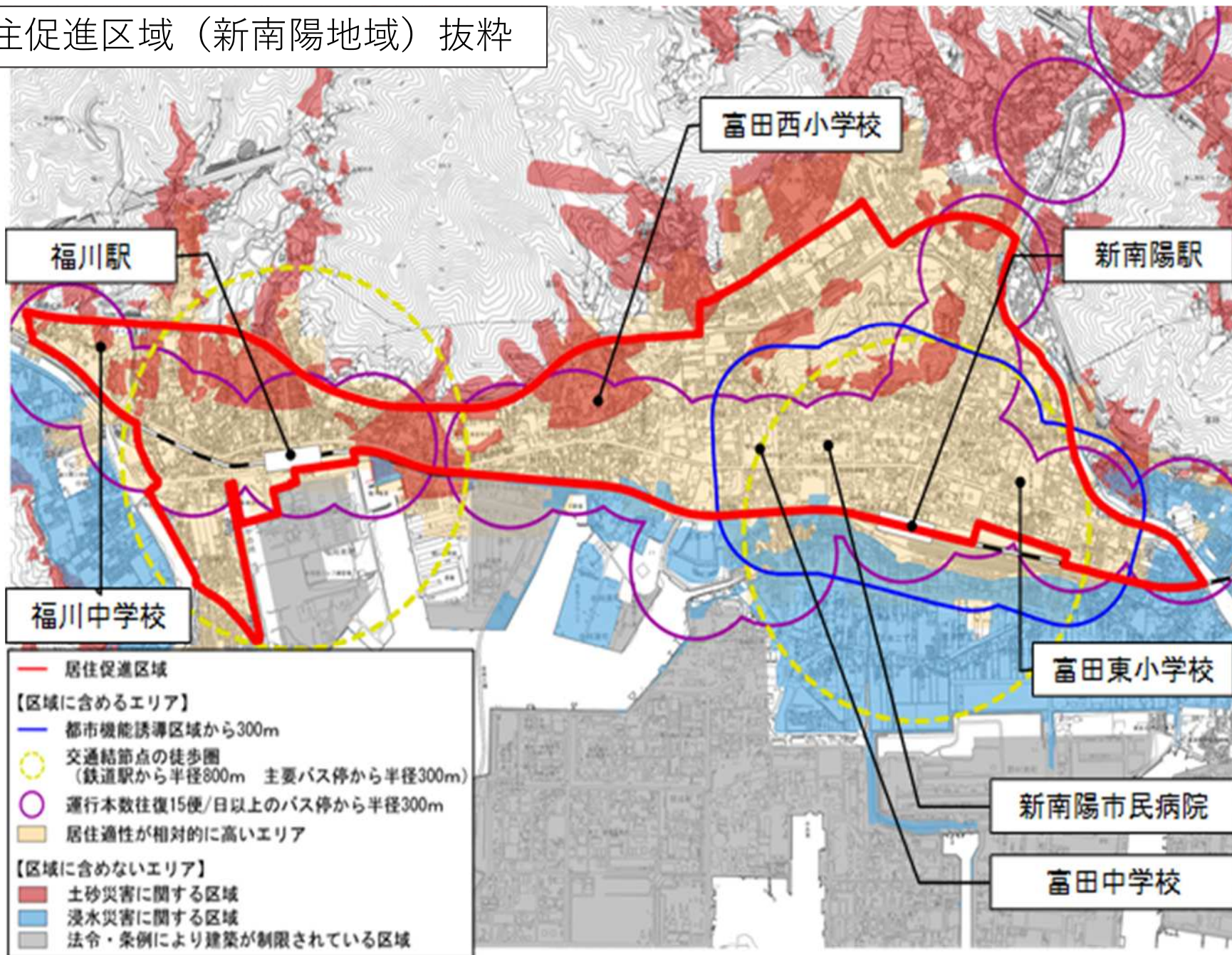


区分	区域（法令等）	区域設定等
原則として、居住促進区域に含まない区域	土砂災害特別警戒区域（土砂災害防止法）	含まない
	地すべり防止区域（地すべり等防止法）	含まない
	急傾斜地崩壊危険区域（急傾斜地災害防止法）	含まない
居住を誘導することが適切ではないと判断される場合は、原則として、居住促進区域に含まない区域	土砂災害警戒区域（土砂災害防止法）	原則として含まない
	計画規模（L1）津波災害警戒区域（津波防災地域づくり法）	原則として浸水深2メートル以上の区域は含まない
	計画規模（L1）浸水想定区域（水防法）	原則として浸水深2メートル以上の区域は含まない

周南市立地適正化計画P97より抜粋



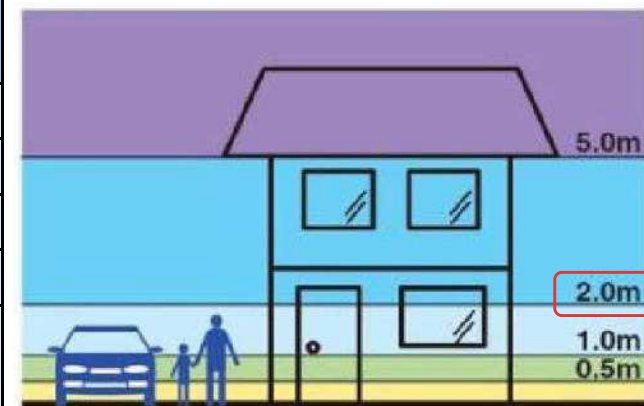
居住促進区域（新南陽地域）抜粋



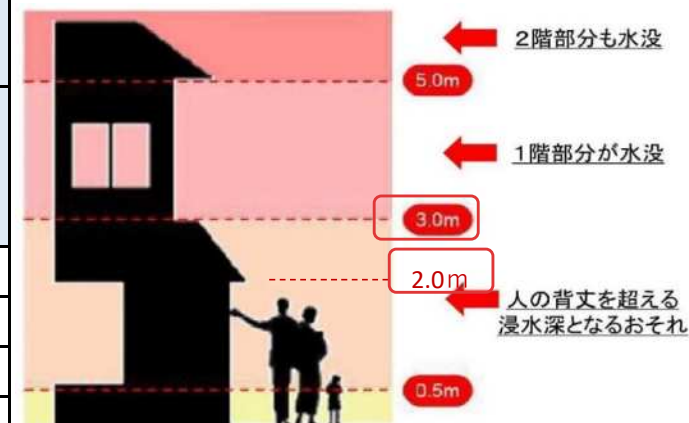


	パターン①	パターン②	パターン③	現行	
	想定最大で2.0m以上を含まない、 家屋倒壊等氾濫区域も含まない	想定最大で3.0m以上を含まない、 家屋倒壊等氾濫区域も含まない	計画規模で2.0m以上を含まない、 家屋倒壊等氾濫区域も含まない	計画規模で2.0m以上を含まない	
土砂災害特別警戒区域	含まない	含まない	含まない	含まない	
地すべり防止区域	含まない	含まない	含まない	含まない	
急傾斜地崩壊危険区域	含まない	含まない	含まない	含まない	
土砂災害警戒区域	原則として含まない	原則として含まない	原則として含まない	原則として含まない	
計画規模 L 1 洪水・高潮・津波浸水想定区域	浸水深2.0m以上を含まない	浸水深2.0m以上を含まない	浸水深2.0m以上を含まない	浸水深2.0m以上を含まない	
想定最大規模 L 2 洪水・高潮・津波浸水想定区域	浸水深2.0m以上を 含まない	浸水深3.0m以上を 含まない	浸水深全て 含む	浸水深全て含む -	
家屋倒壊等氾濫想定区域 _河岸浸食 (洪水浸水)	含まない	含まない	含まない	-	
大規模盛土造成地 ※地盤調査の結果で安全性が確認できなかった場合は含まない	含む	含む	含む	-	
居住促進区域 の面積	徳山	94%	98%	98%	100%
	新南陽	52%	84%	98%	100%
	徳山西部	67%	78%	100%	100%
	熊毛	100%	100%	100%	100%

計画規模 (L1)



想定最大規模 (L2)

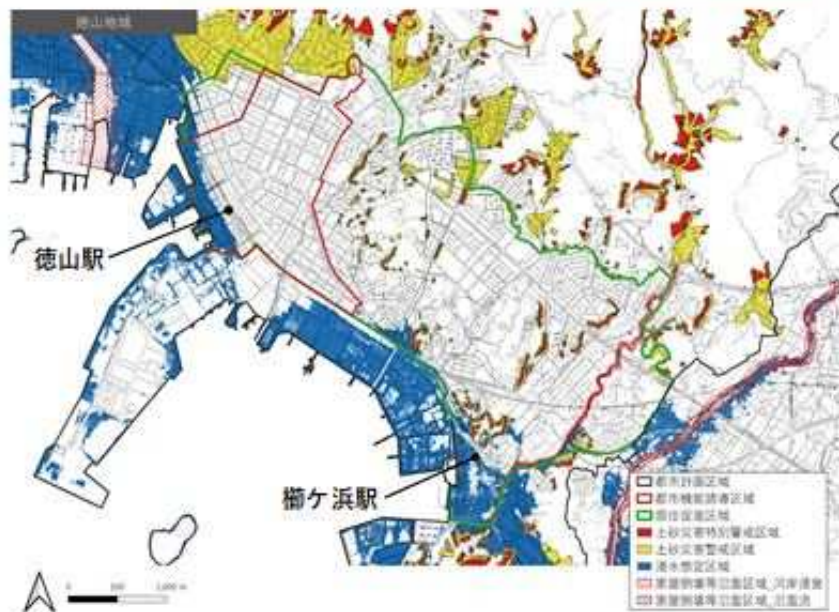


居住促進区域の縮小

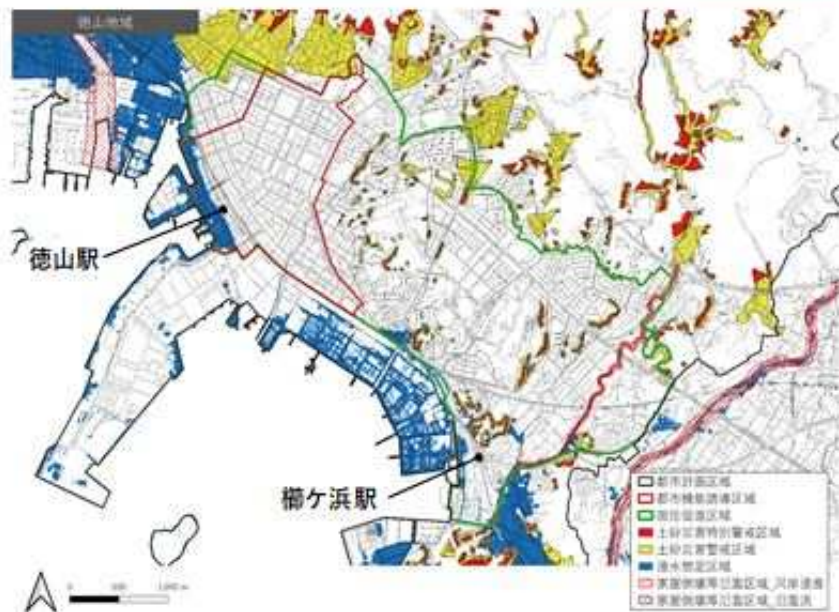
■ 居住促進区域の変更の検討 (徳山地域)



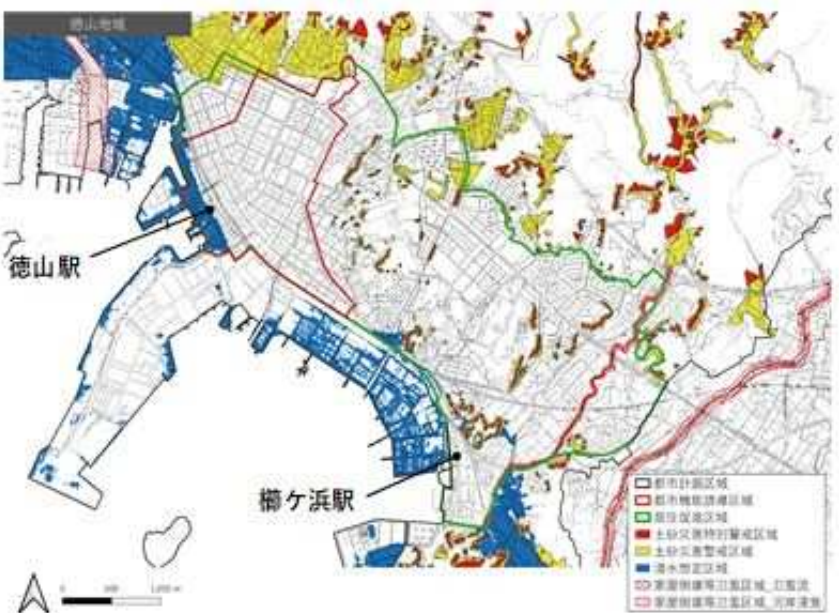
パターン① **【想定最大で2.0m以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く】**



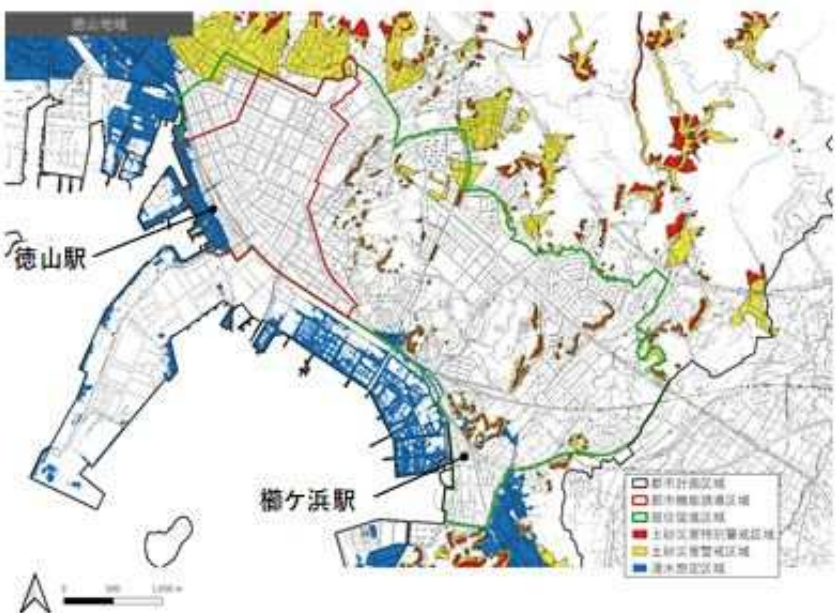
パターン② **【想定最大で3.0m以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く】**



パターン③ **【計画規模で2.0m以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く】**



現行 **【計画規模で2.0m以上を除く】**





パターン① [想定最大で 2.0m 以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く]



パターン② [想定最大で 3.0m 以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く]

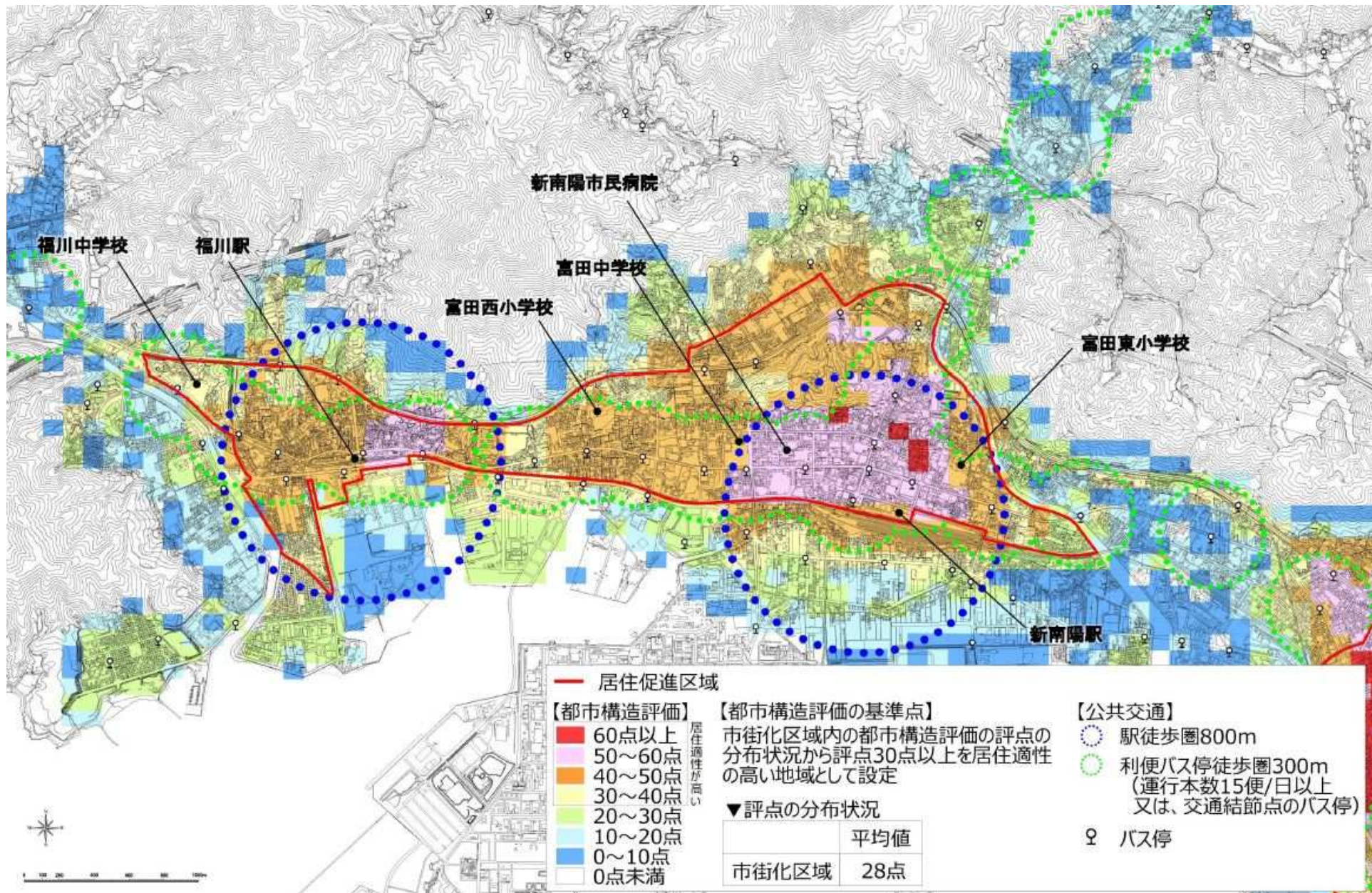


パターン③ [計画規模で 2.0m 以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く]

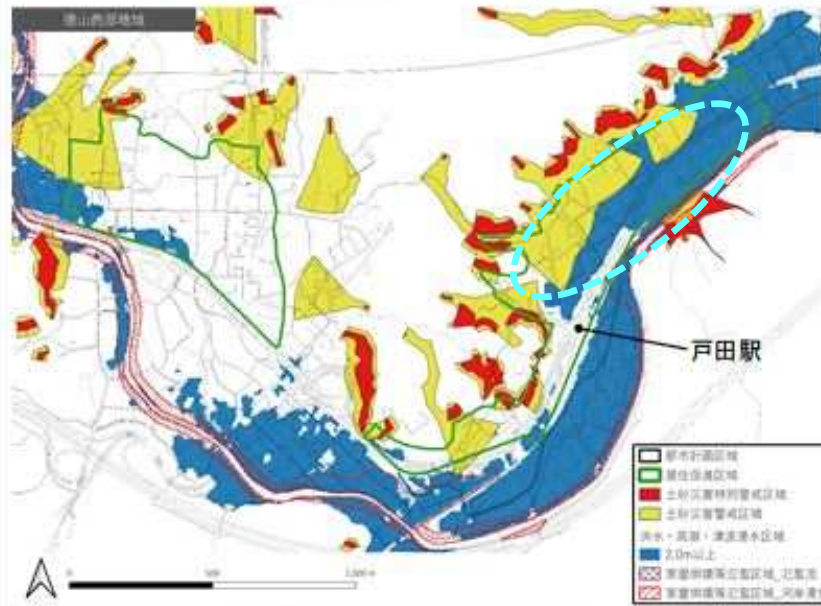


現行 [計画規模で 2.0m 以上を除く]

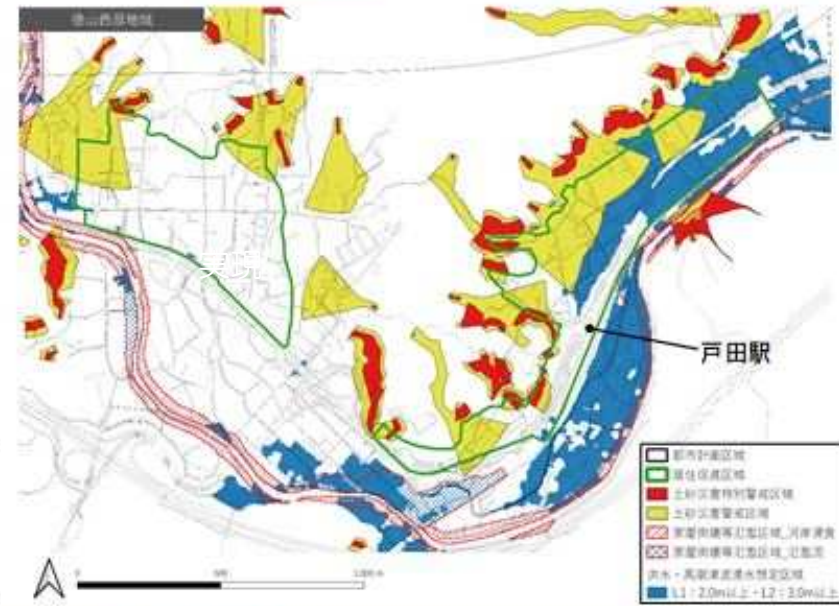




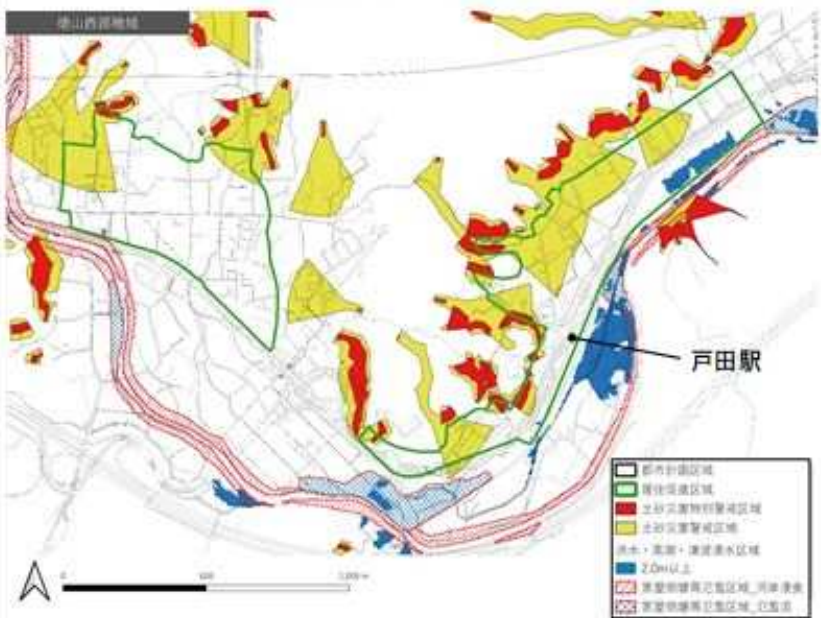
パターン① **【想定最大で 2.0m 以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く】**



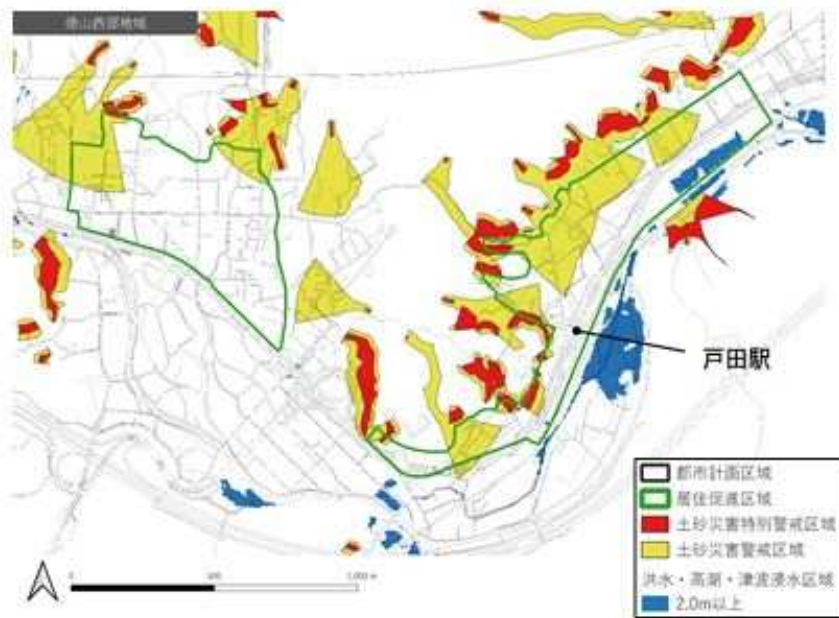
パターン② **【想定最大で 3.0m 以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く】**

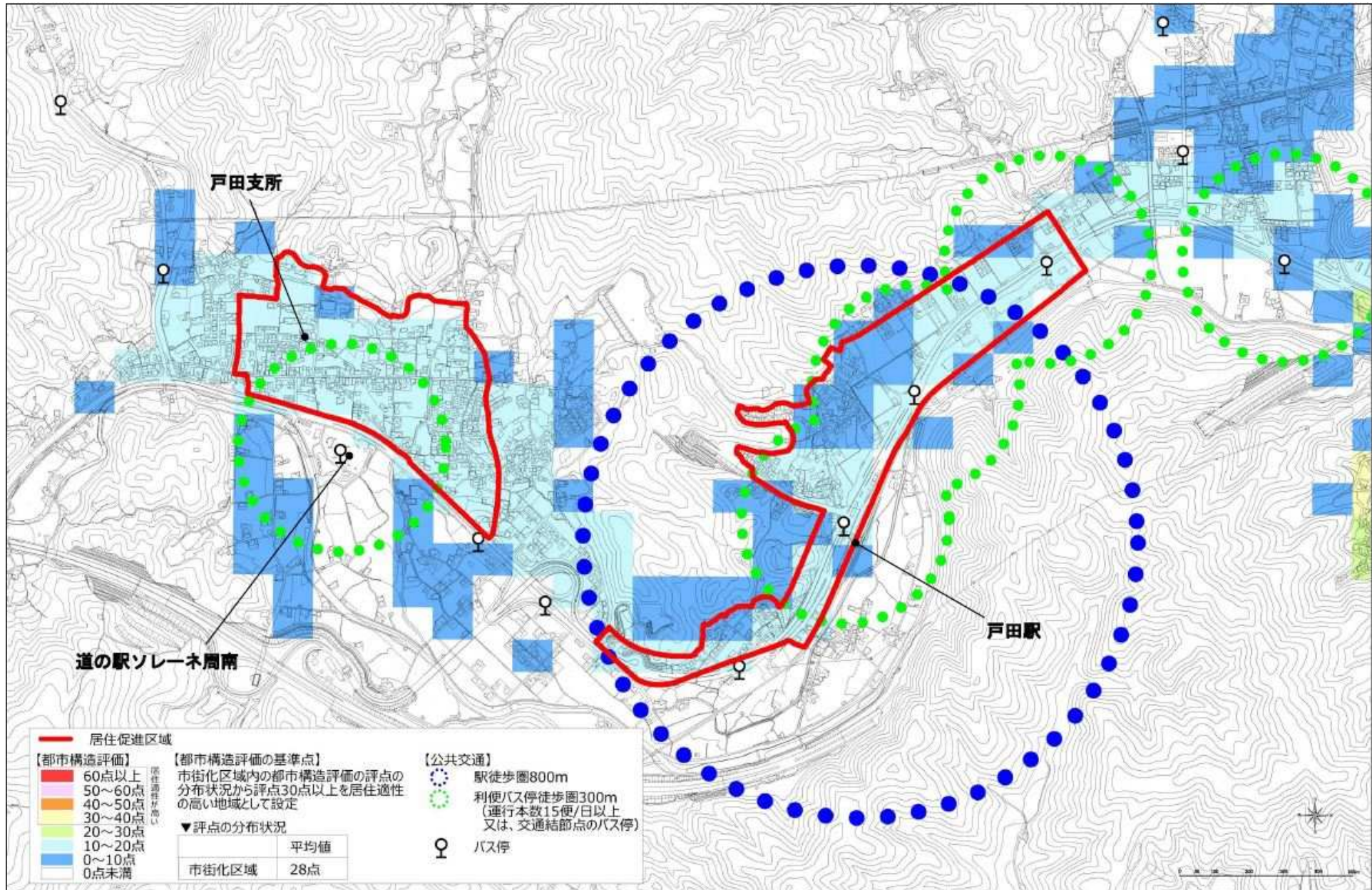


パターン③ **【計画規模で 2.0m 以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く】**



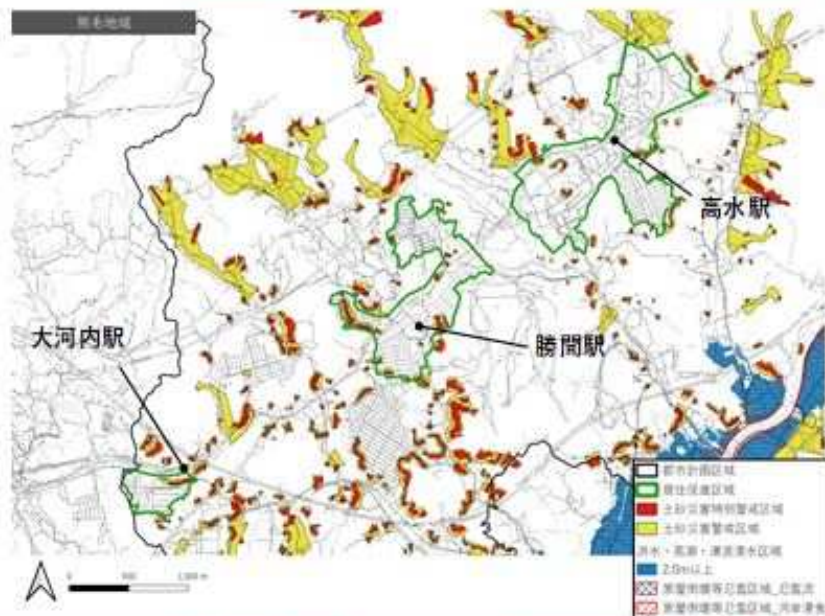
現行 **【計画規模で 2.0m 以上を除く】**



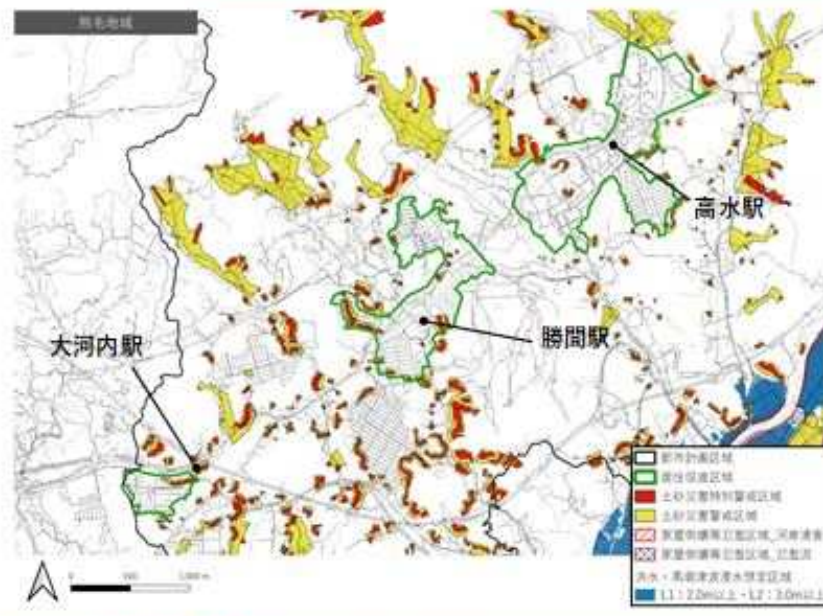




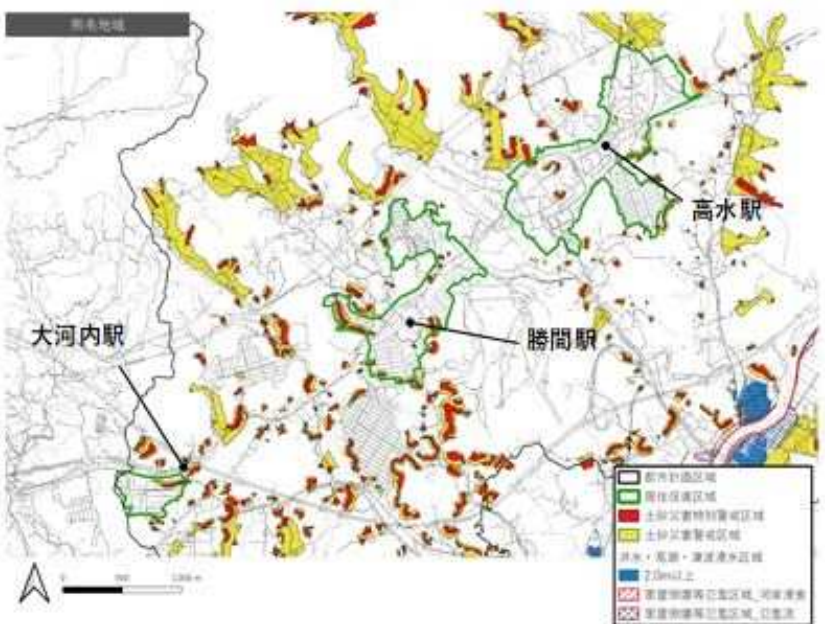
パターン① **想定最大で2.0m以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く**



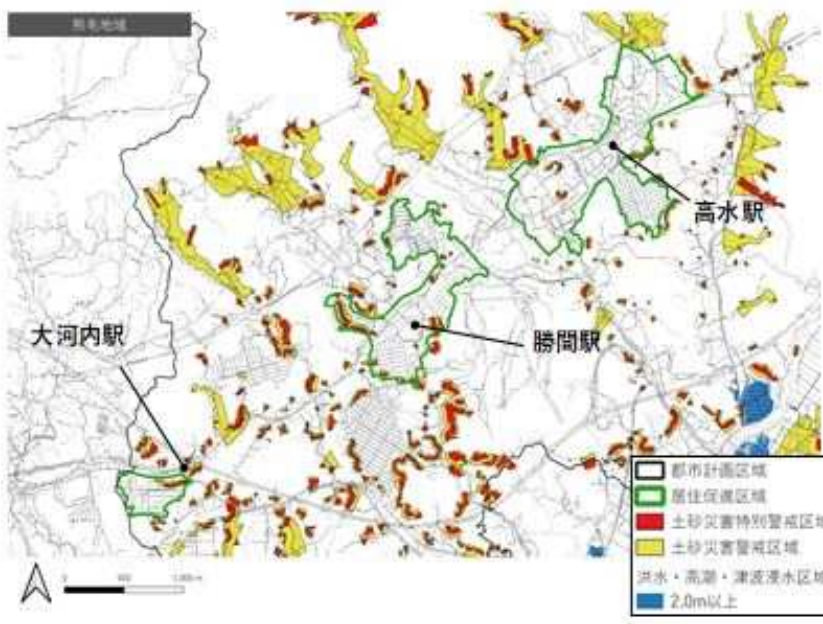
パターン② **想定最大で3.0m以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く**



パターン③ **計画規模で2.0m以上を除く、家屋倒壊等氾濫区域も除く**



現行 **計画規模で2.0m以上を除く**



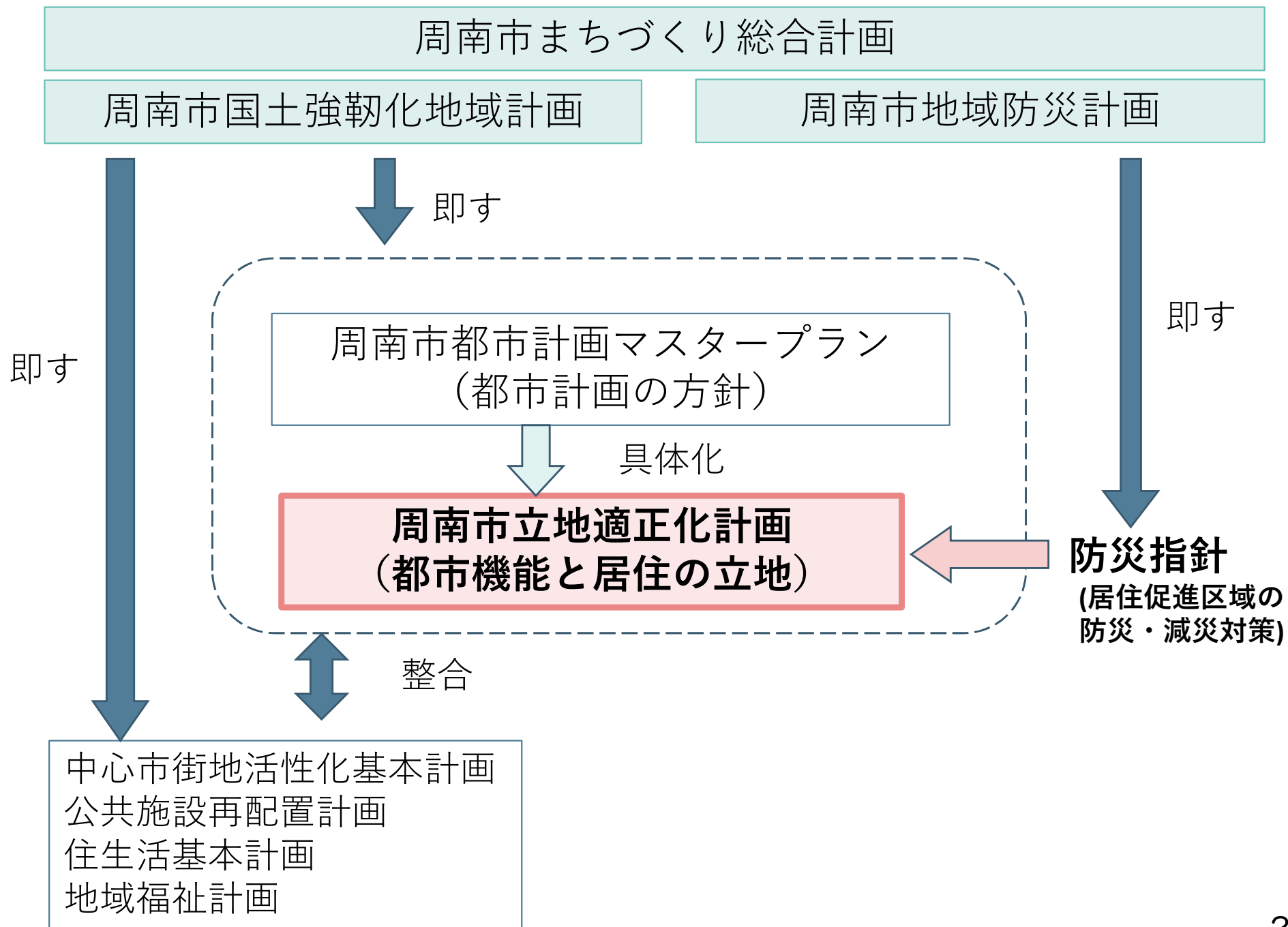
	パターン①	パターン②	パターン③	現行	
	想定最大で2.0m以上を含まない、 <u>家屋倒壊等氾濫区域も含まない</u>	想定最大で3.0m以上を含まない、 <u>家屋倒壊等氾濫区域も含まない</u>	<u>計画規模で2.0m以上</u> を含まない、 <u>家屋倒壊等氾濫区域も含まない</u>	<u>計画規模で2.0m以上</u> を含まない	
土砂災害特別警戒区域	含まない	含まない	含まない	含まない	
地すべり防止区域	含まない	含まない	含まない	含まない	
急傾斜地崩壊危険区域	含まない	含まない	含まない	含まない	
土砂災害警戒区域	原則として含まない	原則として含まない	原則として含まない	原則として含まない	
<u>計画規模 L 1</u> 洪水・高潮・津波浸水想定区域	浸水深2.0m以上を含まない	浸水深2.0m以上を含まない	浸水深2.0m以上を含まない	浸水深2.0m以上を含まない	
<u>想定最大規模 L 2</u> 洪水・高潮・津波浸水想定区域	浸水深2.0m以上を含まない	浸水深3.0m以上を含まない	浸水深全て含む	浸水深全て含む —	
家屋倒壊等氾濫想定区域 _河岸浸食（洪水浸水）	含まない	含まない	含まない	—	
大規模盛土造成地 ※地盤調査の結果で安全性が確認できなかった場合は含まない	含む	含む	含む	—	
居住促進区域 の面積	徳山	94%	98%	98%	100%
	新南陽	52%	84%	98%	100%
	徳山西部	67%	78%	100%	100%
	熊毛	100%	100%	100%	100%



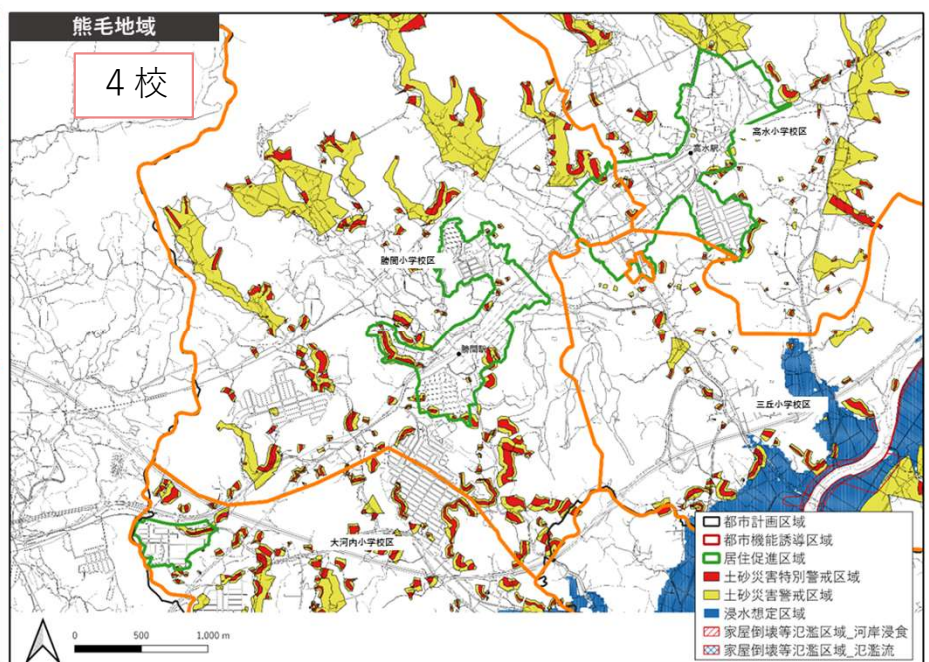
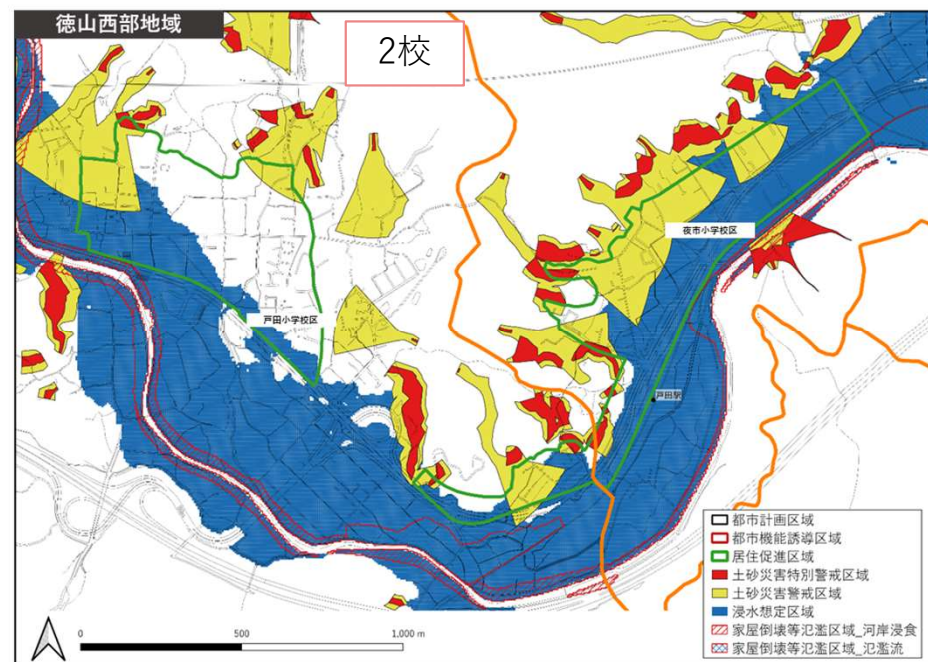
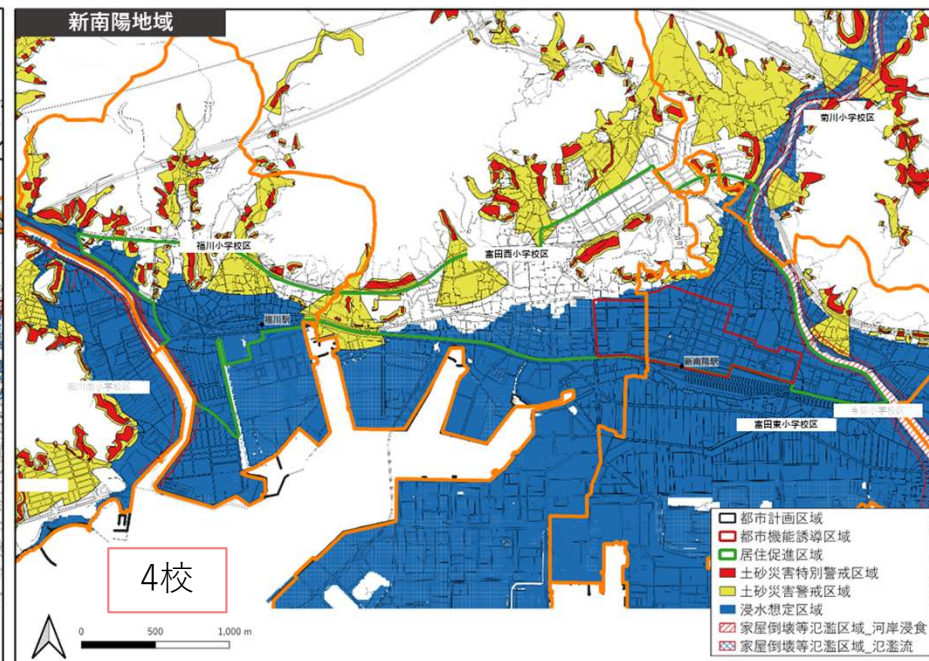
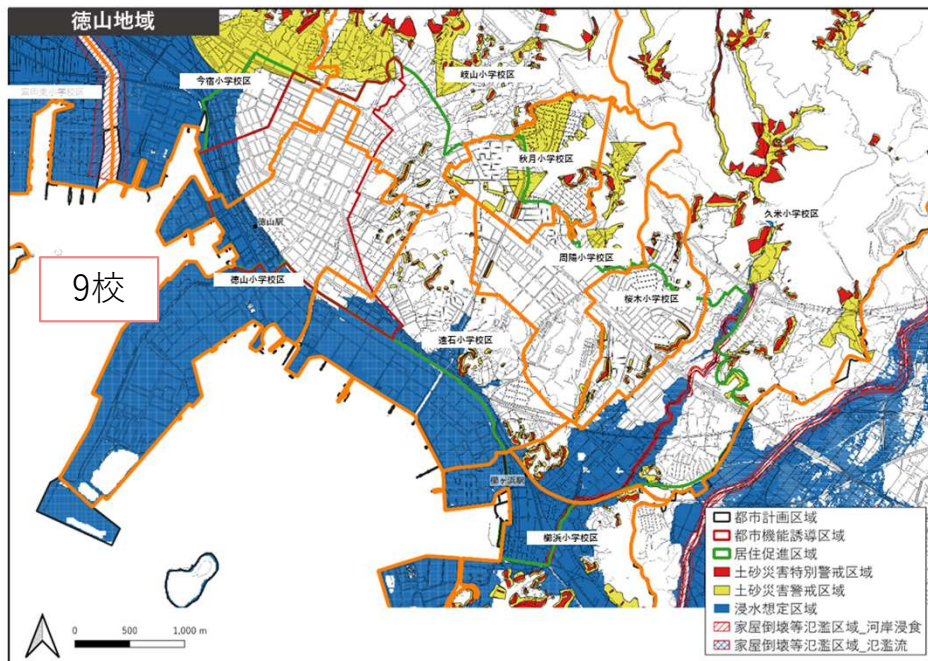
【報告事項】

(1) 居住促進区域の見直し検討について

(2) 地区ごとの課題を踏まえた取組の検討について

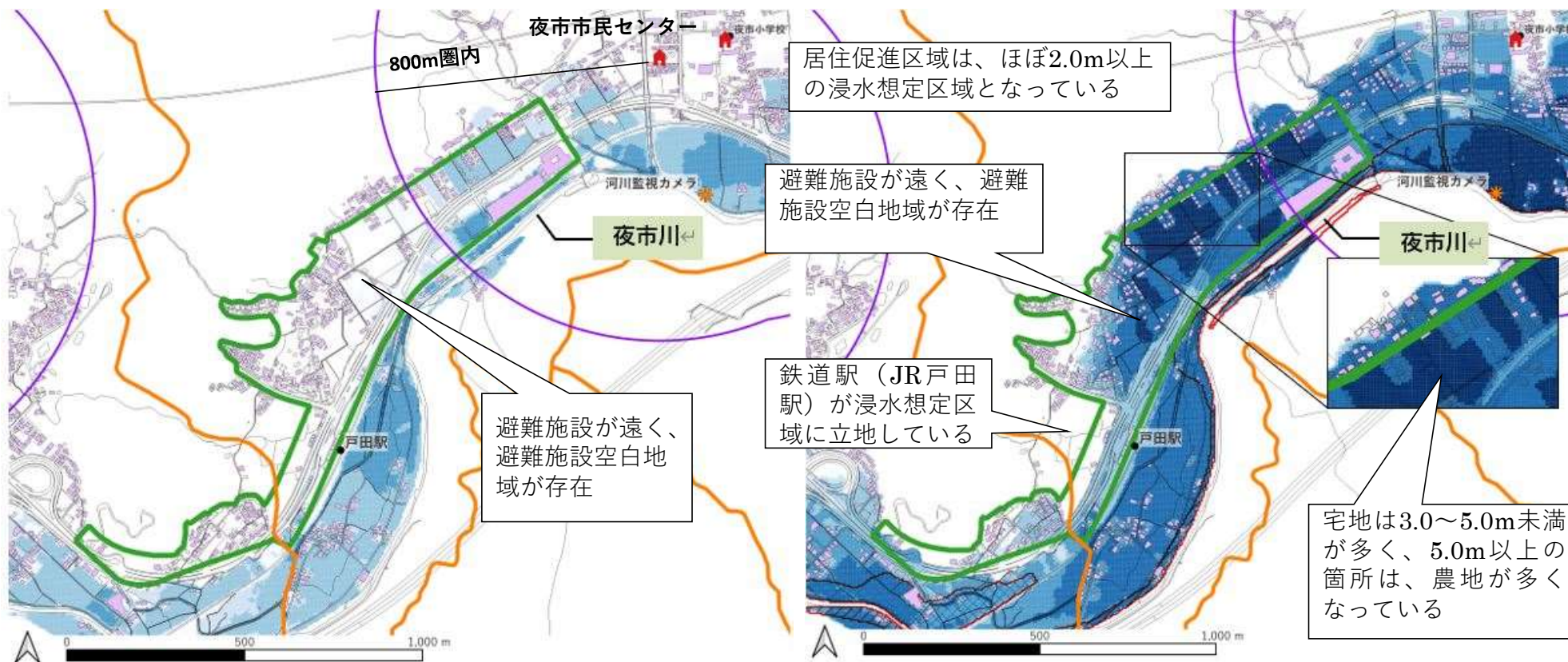


居住促進区域に災害リスクがある小学校区



計画規模 L 1

想定最大規模 L 2



対策（L1・L2共通）

- ・ 夜市川水系流域治水プロジェクトの取組
- ・ 河川改修
- ・ 河川浚渫（夜市川、伊賀川など）
- ・ ハザードマップ周知
- ・ 自主防災組織の活動及び支援
- ・ 安全な避難場所・避難所の確保
- ・ 河川監視体制の強化



流域治水のイメージ



河川流域全体のあらゆる関係者が協働し流域全体

ハード・ソフト対策

水害軽減のための
具体的な対策



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川改修
- ・河川浚渫
- ・下水道施設の整備・耐水化
- ・水田の貯留機能向上
- ・森林の整備・保全及び治山対策

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・水害リスクを考慮したまちづくり
- ・防災まちづくりの検討に必要な情報の整備

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・浸水想定区域図やハザードマップ等の作成・周知
- ・河川監視体制の強化
- ・防災メール等の多様な手段による情報の発信・伝達
- ・出前講座等を活用した防災教育の推進
- ・自主防災組織の育成や活動の支援
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の促進



凡例

	二級河川		流域界
	森林整備センター		洪水浸水想定区域【計画規模(1/30)】
	洪水浸水想定区域【想定最大】		洪水浸水想定区域図の公表済み区間

作成：周南地域の原管理河川における大規模氾濫に関する減災対策協議会 流域治水部会

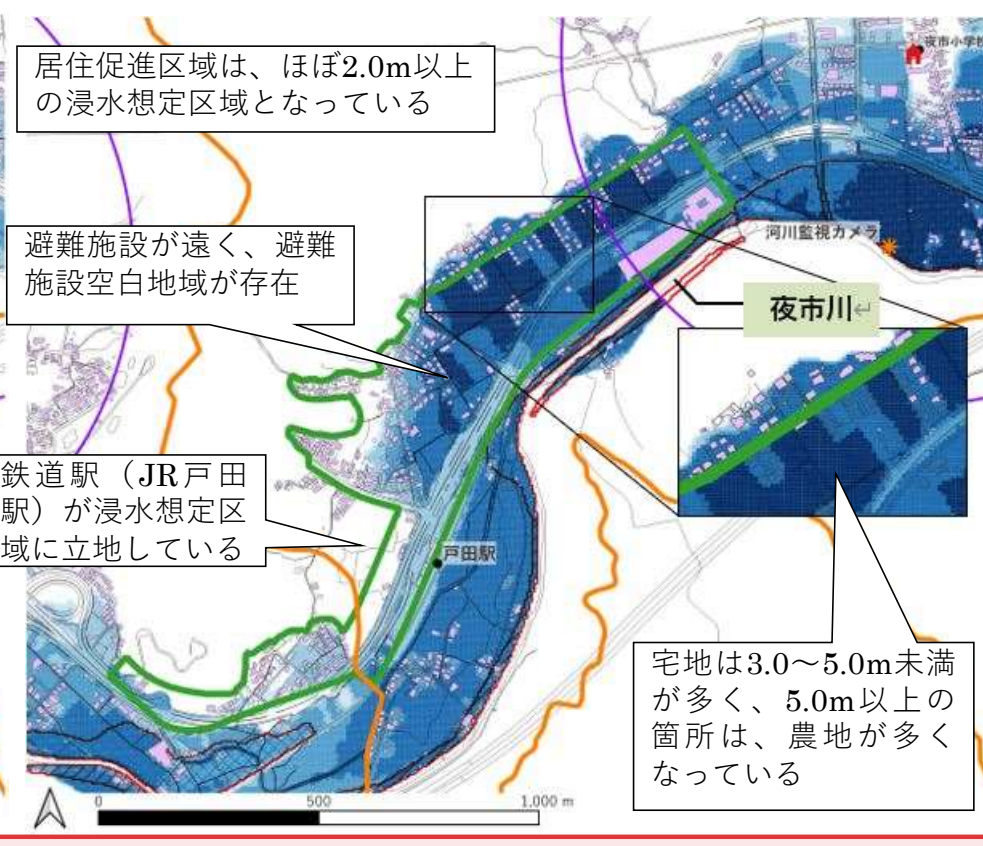
※地理院地図に浸水想定範囲を追記して掲載
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

居住促進区域



計画規模 L 1

想定最大規模 L 2



居住促進区域は、ほぼ2.0m以上の浸水想定区域となっている

避難施設が遠く、避難施設空白地域が存在

避難施設が遠く、避難施設空白地域が存在

鉄道駅（JR戸田駅）が浸水想定区域に立地している

宅地は3.0～5.0m未満が多く、5.0m以上の箇所は、農地が多くなっている

対策（L1・L2共通）

- ・夜市川水系流域治水プロジェクトの取組
- ・河川改修
- ・河川浚渫（夜市川、伊賀川など）
- ・ハザードマップ周知
- ・自主防災組織の活動及び支援
- ・安全な避難場所・避難所の確保
- ・河川監視体制の強化



夜市川河川監視カメラ
（平常時の様子）

周南市HP 防災危機管理課



←スマートフォン・タブレット端末からの読み取りはこちらから

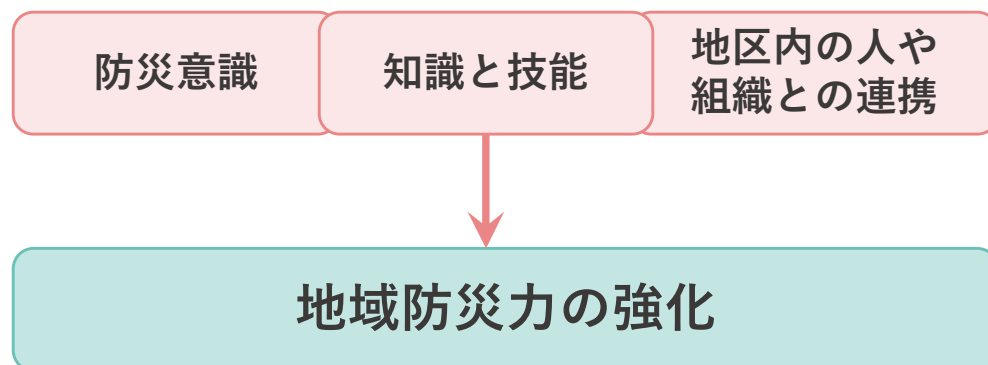
地区自主防災組織 35地区

各地域で行われている活動

- ・ 資機材の整備
- ・ 備蓄
- ・ 各種訓練（避難訓練、避難所運営訓練、炊き出し訓練、通信訓練等）
- ・ 防災啓発活動（チラシ・ポスター配布、講演会）
- ・ 地区内の緊急連絡網の整備等

市実施の事業

- ・ 自主防災組織活動支援補助金の交付
- ・ 自主防災研修会の実施



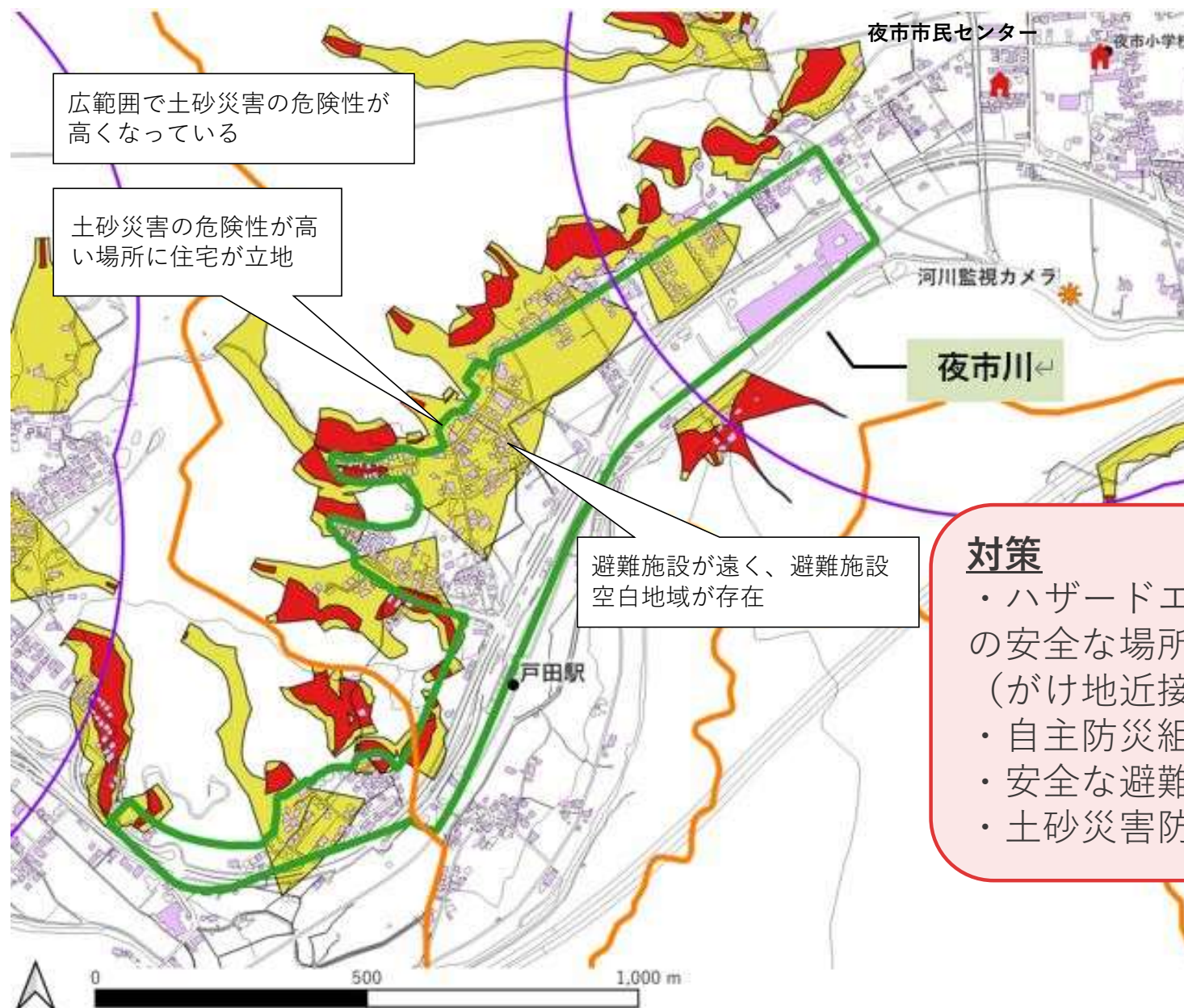
総合防災訓練の様子

想定最大規模 L 2



対策（L1・L2共通）

- ・ 自主防災組織の活動及び支援
- ・ 安全な避難場所・避難所の確保



広範囲で土砂災害の危険性が
高くなっている

土砂災害の危険性が高い
場所に住宅が立地

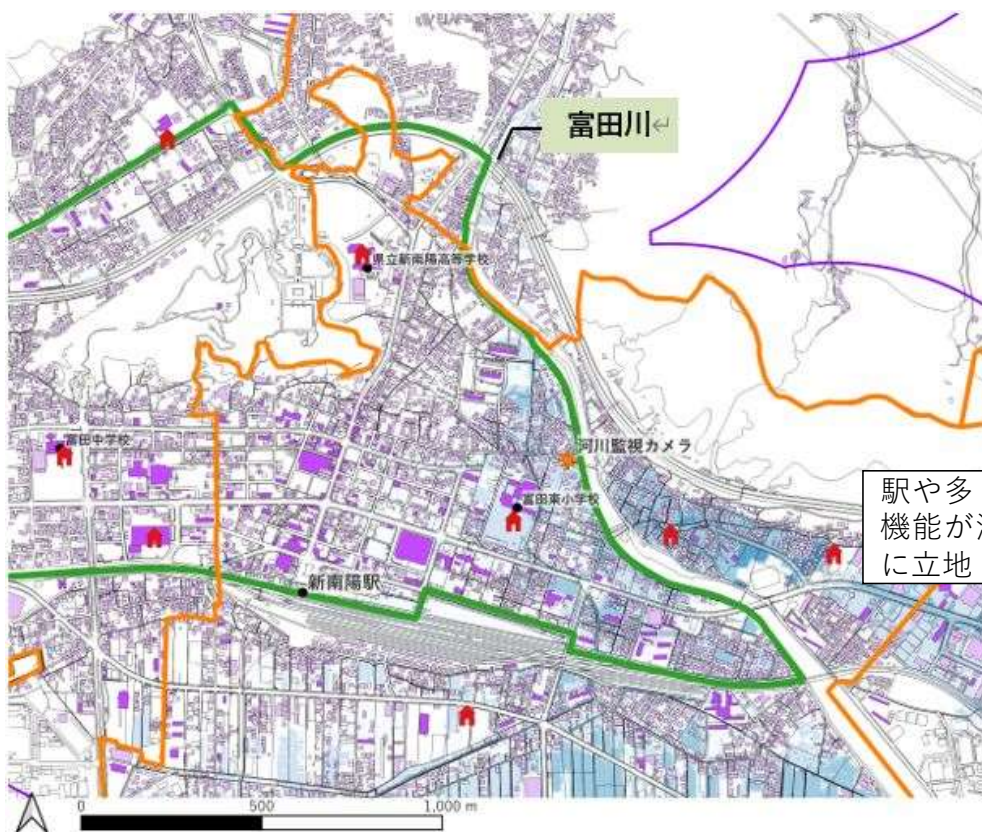
避難施設が遠く、避難施設
空白地域が存在

- 対策**
- ・ハザードエリア内の建物についての安全な場所への移転促進（がけ地近接等危険住宅移転事業）
 - ・自主防災組織の活動及び支援
 - ・安全な避難場所・避難所の確保
 - ・土砂災害防止対策

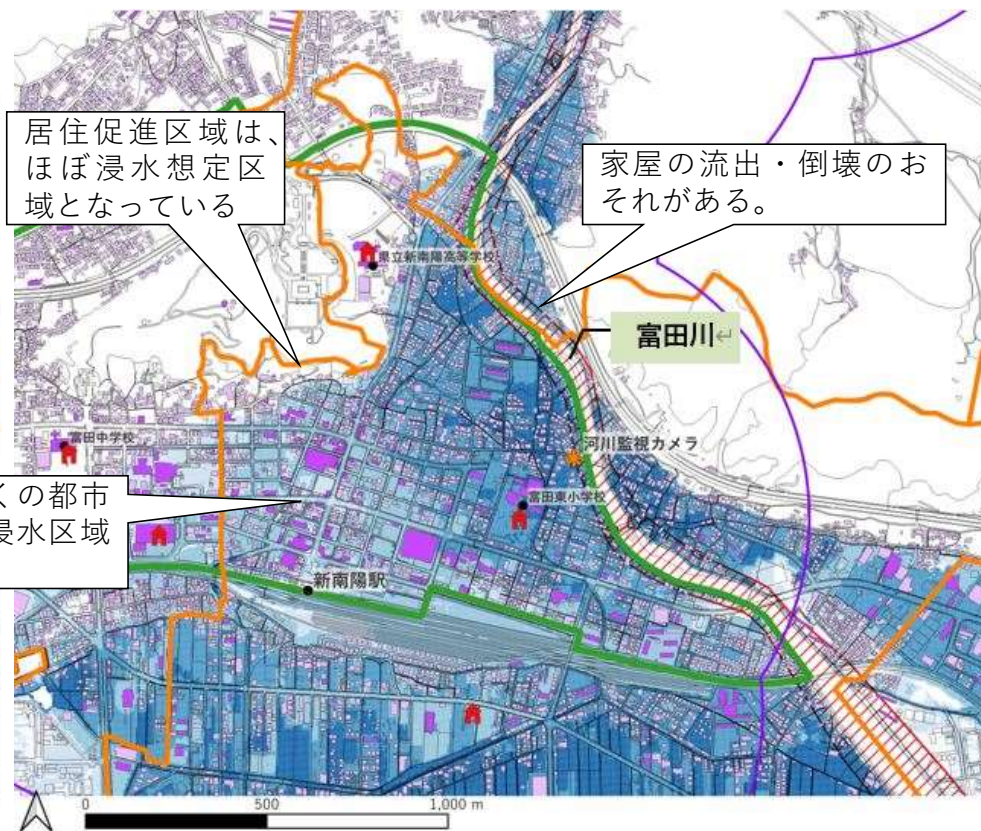
土砂災害想定区域は、居住促進区域に含まないが、居住促進区域に近接しており、居住促進区域に影響を及ぼす可能性があるため、リスクとして捉えている。

災害種別	リスク対策	施策	取組・事業	実施主体
共通	回避	1-1 災害情報の的確な情報発信	防災関係機関における情報伝達	市
			避難情報発令及び自主避難のための情報提供	市
			レッドゾーン等への建築物の新規建設の規制	市
			防災教育の実施	市
		1-2 ハザードマップの作成・更新	WE B版ハザードマップの活用、L 2洪水ハザードマップの整備	市
	1-3 防災訓練の実施	総合防災訓練等の実施、防災意識の啓発	市	
	1-4 避難所の生活環境対策	行政施設の非常用電源の整備、非常物資の備蓄	市	
		応援協定の締結・拡充	市	
	1-5 自主防災組織の活動支援	自主防災組織への研修会、活動支援	市	
	低減	1-6 避難行動要支援者対策の促進	避難行動要支援者名簿の作成	市
	低減	1-7 福祉施設の防災対策の推進	地域介護・福祉空間整備等事業	市
			避難確保計画作成促進事業	市
			隣保館整備事業	市
	低減	1-8 安全な避難場所・避難所の確保	防災拠点となる公園・緑地の確保（都市公園事業）	市
防災拠点となる施設の整備推進（徳山動物園）			市	
学校施設の安全対策（小中学校改修事業）			市	
インフラ施設の耐震化・老朽化対策（周南緑地体育施設等整備事業）			市	
福祉避難所の指定・協定締結			市	
低減	1-9 安全な避難路の確保	道路施設の老朽化対策（道路ストック点検整備事業）	市	
		安全な避難路の確保（市道改良事業・道路ストック点検整備事業）	市	
		幹線道路の整備（街路整備事業）	市	
水害	低減	2-1 内水排水機能の強化	下水道事業の業務継続計画の策定、下水層施設の耐震化・老朽化対策	市
			集落排水施設の耐震化・老朽化対策	市
	低減	2-2 河川改修等の治水対策	総合流域防災事業	県、市
低減	河川維持管理事業		県、市	
土砂災害	低減	2-3 海岸保全施設の整備・老朽化対策	海岸保全施設の整備・老朽化対策	県、市
		3-1 土砂災害防止対策の実施	土砂災害防止施設の整備	県、市
大規模盛土造成地	低減	3-2 安全な場所への移転促進	がけ地近接等危険住宅移転事業	市
		4-1 大規模盛土造成地の活動崩落対策	宅地耐震化推進事業	市
	回避	4-2 居住促進区域の見直し	立地適正化計画居住促進区域の見直し	市

計画規模 L 1



想定最大規模 L 2



対策（L1・L2共通）

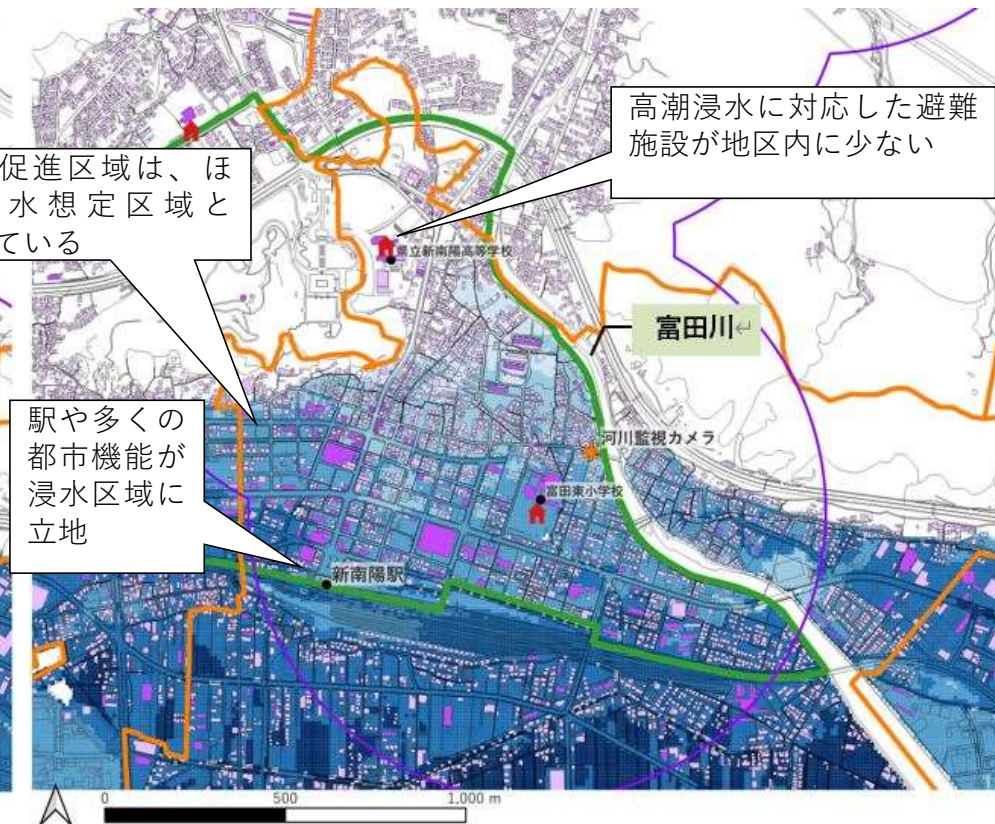
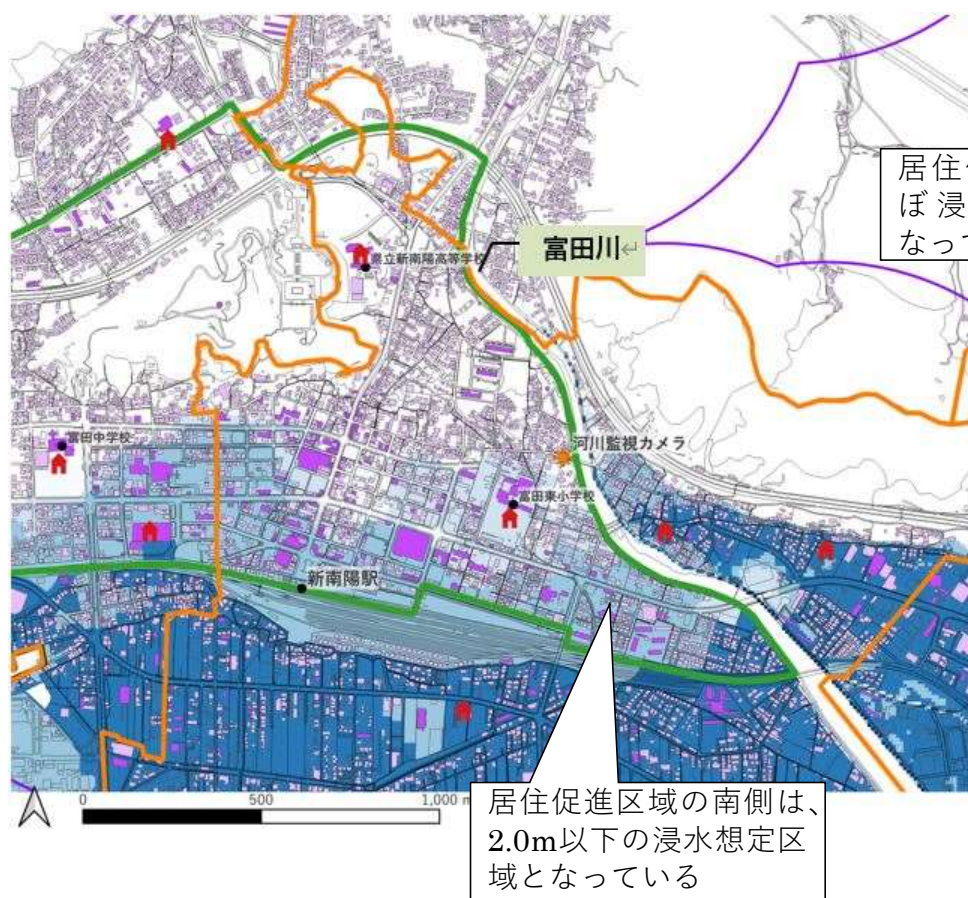
- ・ 河川改修等の治水対策（富田川浚渫工事）
- ・ 自主防災組織の活動及び支援
- ・ 安全な避難場所・避難所の確保

富田川河川監視カメラ
（平常時の様子）

周南市HP 防災危機管理課

計画規模 L 1

想定最大規模 L 2



対策（L1・L2共通）

- ・ 河川浚渫（水害を軽減させる取組）
- ・ 自主防災組織の活動及び支援
- ・ 安全な避難場所・避難所の確保



対策

- ・ 自主防災組織の活動及び支援
- ・ 安全な避難場所・避難所の確保



一部で土砂災害の
リスクが存在



対策

- ・土砂災害防止対策の実施
- ・ハザードエリア内の建物についての安全な場所への移転促進
- ・自主防災組織の活動及び支援
- ・安全な避難場所・避難所の確保

区分	区域（法令等）		区域設定等
原則として、居住促進区域に含まない区域	土砂災害特別警戒区域（土砂災害防止法）		含まない
	地すべり防止区域（地すべり等防止法）		含まない
	急傾斜地崩壊危険区域（急傾斜地災害防止法）		含まない
	浸水想定区域（水防法） 家屋倒壊等氾濫区域		含まない
居住を誘導することが適切ではないと判断される場合は、原則として、居住促進区域に含まない区域	土砂災害警戒区（土砂災害防止法）		原則として含まない
	計画規模（L1）	津波災害警戒区域（津波防災地域づくり法）	原則として浸水深2メートル以上の区域は含まない
		浸水想定区域（水防法）	原則として浸水深2メートル以上の区域は含まない
居住促進区域に含めることについて慎重に判断を行うことが望ましい区域	大規模盛土造成地（宅地造成等規制法）		地盤調査の結果で安全性が確認できなかった場合は含まない



防災指針の検討

1. 居住誘導区域等における災害リスク分析と防災・減災まちづくりに向けた課題の抽出

- 1) 災害ハザード情報等の収集、整理
- 2) 災害リスクの高い地域等の抽出
- 3) 地区ごとの防災上の課題の整理



2. 防災まちづくりの将来像、取組方針の検討

- 1) 地区ごとの課題を踏まえた取組方針の検討



3. 具体的な取組、スケジュール、目標値の検討

- 1) 防災指針に基づく具体的なハード・ソフトの取組検討
- 2) 取組スケジュールと目標値の検討
- 3) 防災指針に関連する制度の活用

誘導施設・誘導区域等の検討

連携した検討



防災指針の素案

第16回都再協での報告（R5年度）